

学校教育目標	自ら輝け 夢をつかめ
目指す学校像	わかる授業 明るい学級 挨拶と歌声響く学校 ~生徒の主体性や向上心を育み、保護者・地域の信頼に応える~

重点目標	1 主体的に学習に取り組む態度の育成を図り、学力向上を推進する。 2 生徒たちにとって学校が居心地の良い場となるように生徒指導・教育相談を推進する。 3 地域で育てたい生徒像の具現化を推進する。 4 施設の安全管理を推進するなど、危機管理に対する意識を向上させる。 5 協力体制を構築し、やりがいを感じる働きやすい職場環境を構築する。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校自己評価							学校運営協議会による評価	
年度目標				年度評価			実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1	(現状) ○全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査の結果は、全国平均、県平均を概ね上回っている状態である。 ○授業に落ち着いた態度で取り組む様子が見られる。 (課題) ○令和7年度の全国学力・学習状況調査や市の学力検査等の結果分析から、書くことや関数、知識の活用、振り返りを行う事に課題が見られる。 ○学習に主体的に取り組む態度の育成や、積極的に意見を述べることに課題が見られる	・主体的に学習活動に取り組む場の設定。 ・「書く力」を育てる活動の取組	①小テストや単元テスト、課題の配信や、フィードバックを通して、学習内容の定着を図る。 ②語彙力や自分の考えを伝える力を高めるため、学習の基盤となる国語教育(特に書くこと)の充実を図る。	①数学の「関数」分野の結果は向上したか。 ②国語の「書く力」の結果は向上したか。				
			・主体的に学習に取り組む態度の育成 ・学習したことを振り返る工夫の設定	①主体的に授業に参加できるよう指導方法を工夫する。 ②「生徒が考え、発表する場面」を意図的に設定し、学習に主体的に取り組む態度を育成する。効果がある取組について校内で共有し、自身の取組に生かす。	①生徒アンケート「あなたは、新しいことを学ぶ授業は楽しいと感じていますか」の項目において、肯定的な回答の割合を向上。 ②生徒アンケート「自らの頑張りでわかるようになった」において十分と回答をした割合が昨年度より増加したか。			
2	(現状) ○学校評価生徒アンケート「学校での生活は毎日が楽しく充実していますか」の問いに対して肯定的な意見が100%である。 ○明るくあいさつできる生徒が多くおり、生活面では、落ち着いた生活を送ることができている生徒が多い。 (課題) ○自己有用感を高めることが課題である。 ○何事に対しても受け身ではなく主体的に取り組む姿勢を身に付けることが課題である。	・生徒指導・教育相談体制の充実 ・特別支援教育の推進 ・エージェンシーの育成	①常に生徒の些細な変化を見逃さず、迅速に対応し、安心・安全な環境を構築する。 ②報告・連絡・相談・見届けを徹底し、全職員で組織的に対応する。 ③Solaルームの効果的な運用について研究する。	①生徒アンケート「困ったときなど、必要に応じて先生に相談できるか」において肯定的な回答が昨年度より増加したか。 ②組織的な生徒指導・教育相談が機能しているか。				
			①生徒会活動の一層の充実を図る(中高連携を軸に)。 ②生徒たちによるルールメイキングを通して、自治的活動の充実を図る。	①生徒が活動する場が増加したか。 ②生徒アンケート「自分の考えを発表することができますか」において肯定的な回答をした割合の向上。				
3	(現状) ○植水小学校と合同で学校運営協議会を開催し、学校と地域の協働体制について熟考を重ねた。 ○地域で育てたい生徒像について熟議を行い、地域と連携し、取組を実施していく。 (課題) ○あいさつスローガンを浸透させ、地域を挙げて活動を推進していく必要がある。 ○学校の取組や地域との連携などを、保護者等へ周知・理解をさらに広めていく必要がある。 ○部活動の地域展開に向けた検討を行う。	・地域で育てたい生徒像の具現化に向けた取組の推進 ・学校や運営協議会の活動についての広報	①学校運営協議会の熟議で具体的な目標を立て、推進するための計画を立案し、地域を挙げて実行する。	①学校運営協議会の熟議で、地域で育てたい生徒像に向けた取組を提案することができたか。 ②推進を図る計画を実行に移すことができたか。				
			①学校だよりやホームページ等で活動の様子を積極的に発信し、教育活動の様子を知ってもらえるように広報する。学校公開など、学校の活動を地域へ公開する機会を増やし、教育活動を保護者・地域と情報共有する。	①学校評価保護者アンケート「たより等により生徒の学習・生活の様子をわかりやすく知らせている」において肯定的な意見が昨年度より増加したか。 ②HP・学校だよりが魅力あるものになるように工夫したか。				
4	(現状) ○生徒が安全で快適に学校生活を送ることができ環境づくりを進めている。 ○危機管理についての意識を高め、迅速な対応ができる組織づくりを進めている。 (課題) ○教職員の人数が少ないので、分担して効率よく校舎内外の状況を確認する必要がある。 ○危機管理への意識を高く持ち、迅速に対応できるよう、意識向上の取組を計画的継続的に実施する必要がある。	・施設の安全管理 ・危機管理能力を高める研修の実施	①校舎内外の状況を確認し、即時対応、予防推進の工夫を実施する。 ②安全点検を確実に確認し、教頭、安全主任、事務と優先順位を確認し、効率的な修繕・整備を進める。	①学校評価保護者アンケート「安全管理や環境整備を行っている」において肯定的な割合を維持する。				
			①心肺蘇生法等の研修を実施する。 ②アレルギー等緊急時の対応についての研修を実施する。 ③不審者等その他、緊急な事案が発生した際の対応について研修を実施する。	①管理職や養護教諭、安全主任を中心に、研修を計画的に実施することができたか。また、研修内容を理解することができたか。				
5	(現状) ○業務に対し協力して取り組もうとする雰囲気醸成しており、服務についての意識が比較的高いといえる。 ○働き方改革を推進するために、時間管理の量的な意識が高まりが見られ、ICT等を活用した質的な改善を試みようとする様子が見られる。 (課題) ○計画的に研修を行い、規範意識を更に高める。 ○働き方を意識できている教職員が多いが、改めて働き方を振り返り、健康に働けるよう量と質	・教員としての自覚を持った行動と協力体制の構築 ・やりがいのある働きやすい職場への業務改善	①服務研修を学期に1回以上実施する。 ②協力体制の強化と若手教員育成の環境を整える。	①全教職員の服務に対する意識が高まったか。 ②全教職員の協力体制に対する意識が高まったか。				
			①時間外在校時間を個々の教職員が把握し、具体的な目標値を定め実行する。 ②風通しがよく働きやすい環境を構築するためにICTの効果的な活用や、業務の見直し等の改善策を3つ以上行う。	①時間外在校時間の割合が、月平均4.5時間以内の教職員を7.5%以上にすることができたか。 ②働き方改革を推進するために、意識が高まり、時間外在校時間を減らすための方策を2つ以上実行することができたか。				

を見直し、業務改善を行う。								
---------------	--	--	--	--	--	--	--	--